

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第135号	氏名	室井栄治
学位審査委員	主査 由井克之 副査 江口勝美 副査 平野明喜		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、最近明らかになったペプチドの糖修飾である C-マンノシル化のマクロファージ機能における生物学的意義を明らかにすることを目的としており、妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 化学的に合成した C-マンノシル化ペプチドを用い、マクロファージ株の LPS 反応に対する影響について、細胞死、サイトカイン産生、細胞表面分子との結合、刺激伝達経路等について詳細に解析しており、十分に評価できる。</p> <p>3 解析・考察の評価 C-マンノシル化ペプチドが、標的分子を介して特定の刺激伝達系を修飾し、LPS に対するマクロファージ反応性の制御に関与することを明らかにした。タンパク質 C-マンノシル化の医学生物学的意義の一端を解明したもので、十分に評価できる。</p> <p>以上のように本論文はタンパク質糖修飾の医学生物学的意義の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			